



コミュニティ活動 かわら版

町内にあるさまざまなコミュニティの活動や
情報、イベントなどをご紹介します。

「鳥獣害対策の第1歩」～対策しよう：緩衝帯整備～

富士見町有害鳥獣対策協議会(産業課 農林保全係) ☎62-9222

●「緩衝帯」とは

人が住み農作業を行う集落と、野生動物が生息する山林との境のことを『緩衝帯』と言います。

野生動物は姿が隠せる藪や茂った山林を好み、集落に近づく通り道にしたり、拠点を構えて寝床にしたりします。緩衝帯を作ることで、山林と集落との距離を十分に確保することができ、見通しを良くすることで動物の出没を抑え、農作物被害や突発的な人身被害が起りにくい環境を作ります。

また、集落の山際に電気柵等の集落柵を張っている場合は、柵に下草が絡むことや、木や枝が倒れ込むことが少なくなるため、柵の維持管理にも効果的です。

●緩衝帯の整備をお願いします

集落と山林の間に空間(緩衝帯)を作ることを『緩衝帯整備』と言います。言葉は堅苦しいですが、例えば草刈りをするだけでも緩衝帯を作ること(つまり緩衝帯整備)は可能です。野生動物が常に生息する山林と、人間が耕作や生活をする環境との間に、見通しの良い十分な距離が設置されれば、緩衝帯整備は完了していると言えます。

動物にもよりますが、5mの緩衝帯が整備できれば、動物の出没はぐっと減ると言われています。

耕作していない田畑の草を刈る、共有地の下草刈りを行う、畑へ張り出した枝を落とすなど、少しのことから緩衝帯の整備が可能です。



▲他市町村での緩衝帯整備
(提供:株式会社BO-GA)

●大規模な緩衝帯を整備するときは

草刈りであれば個人や集落の出払いでも対応できますが、「大木を何本も切りたい」「地権者が大勢いるような広範囲を整備したい」などの大規模な緩衝帯整備を行いたい場合は、区長や集落組合長を通じて、農林保全係までお問い合わせください。活用できる補助金等を一緒に検討します。

富士見町スポーツ少年団だより

富士見町スポーツ少年団事務局(町民センター内) ☎62-2400

本郷少年野球クラブ

私たち「本郷少年野球クラブ」のチーム方針は、「野球を通じ、チームの一員であることを理解し、仲間を励まし合うことで友情を学び、野球は一人ではできないことを知る中で協調性を学び、組織の中で生きることを身につける」です。



両手でキャッチ、振り切るバッティング、体を痛めない投球フォームなどの指導。子供たちは、声を出して盛り上げながら、楽しく野球をしています。

お気軽に体験にお越しください。

練習日：土曜日と日曜日
時間：午前8時30分～正午
場所：立沢グラウンド
団員：小学1～6年生